

平成 29年 9月 17日 の台風第18号による 芹川ダム防災操作の効果について

【 速 報 推 計 】

台風第18号の影響により芹川ダム流域では9月16日1時より雨が降り始め、17日18時での累計は芹川ダム流域で269mmに達しました。

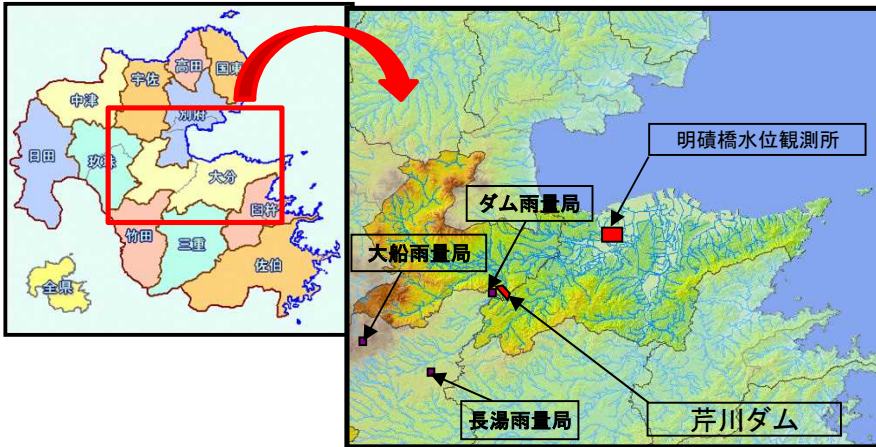
このため、芹川ダムでは17日11時28分より防災操作を開始し、17日15時20分に最大流入量 $330\text{m}^3/\text{s}$ を記録したため、芹川ダムで $165.9\text{m}^3/\text{s}$ を貯留し、 $164.1\text{m}^3/\text{s}$ 放流することにより、ダム下流の水位低減を図りました。

今回の芹川ダムの防災操作により下流大分市明礪地点では、河川水位を15cm程度低減させたものと推測されます。

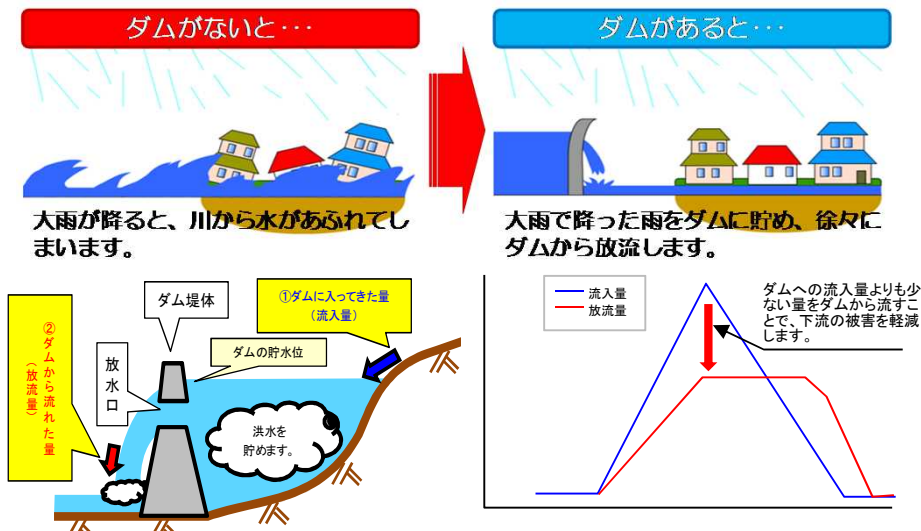


平成 29年 9月 17日 の台風第18号による 芹川ダム防災操作の効果について

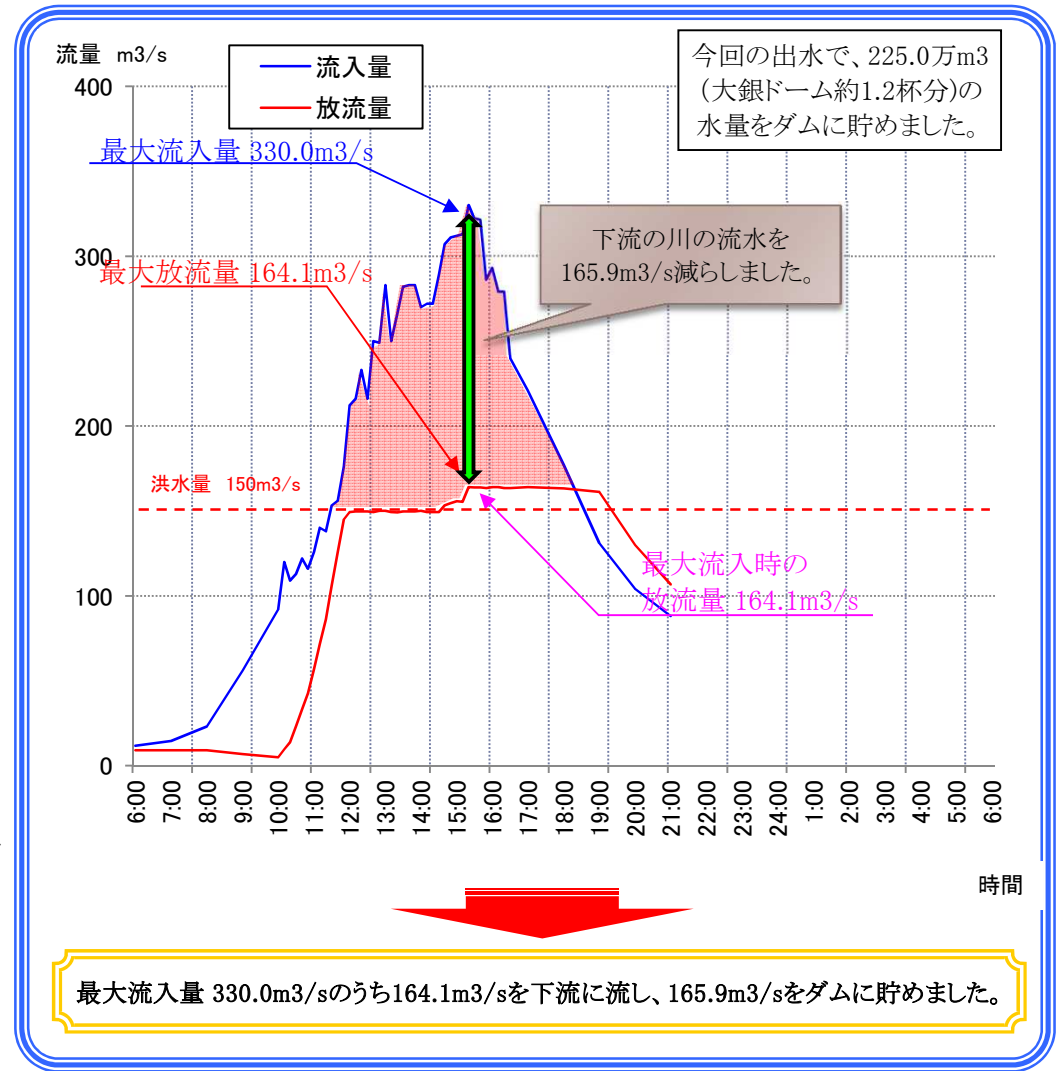
【芹川ダム位置図】



【ダムの治水効果】

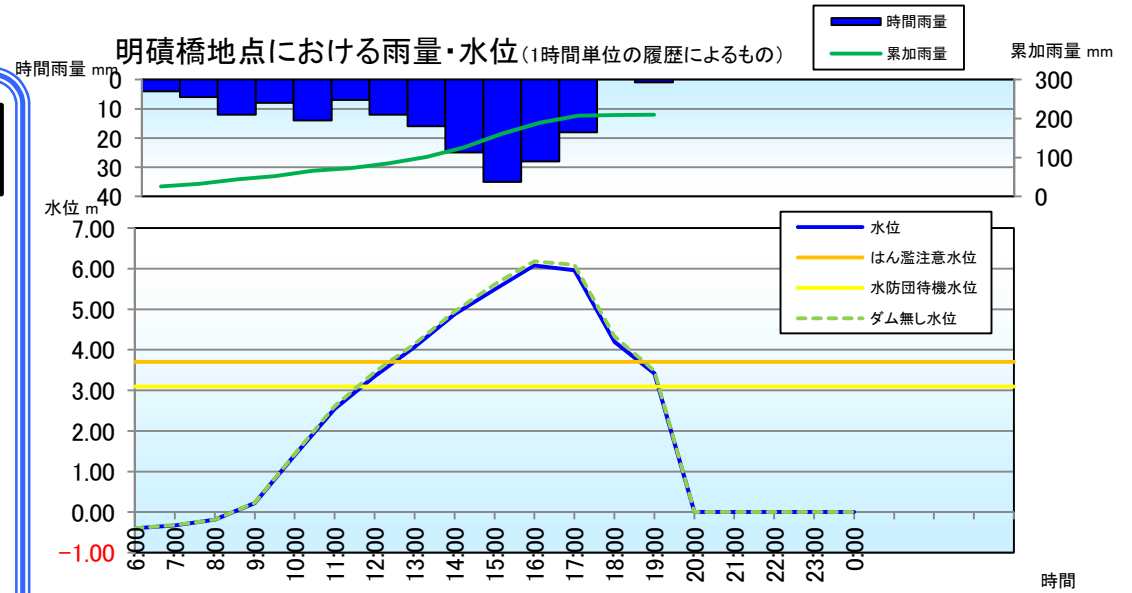
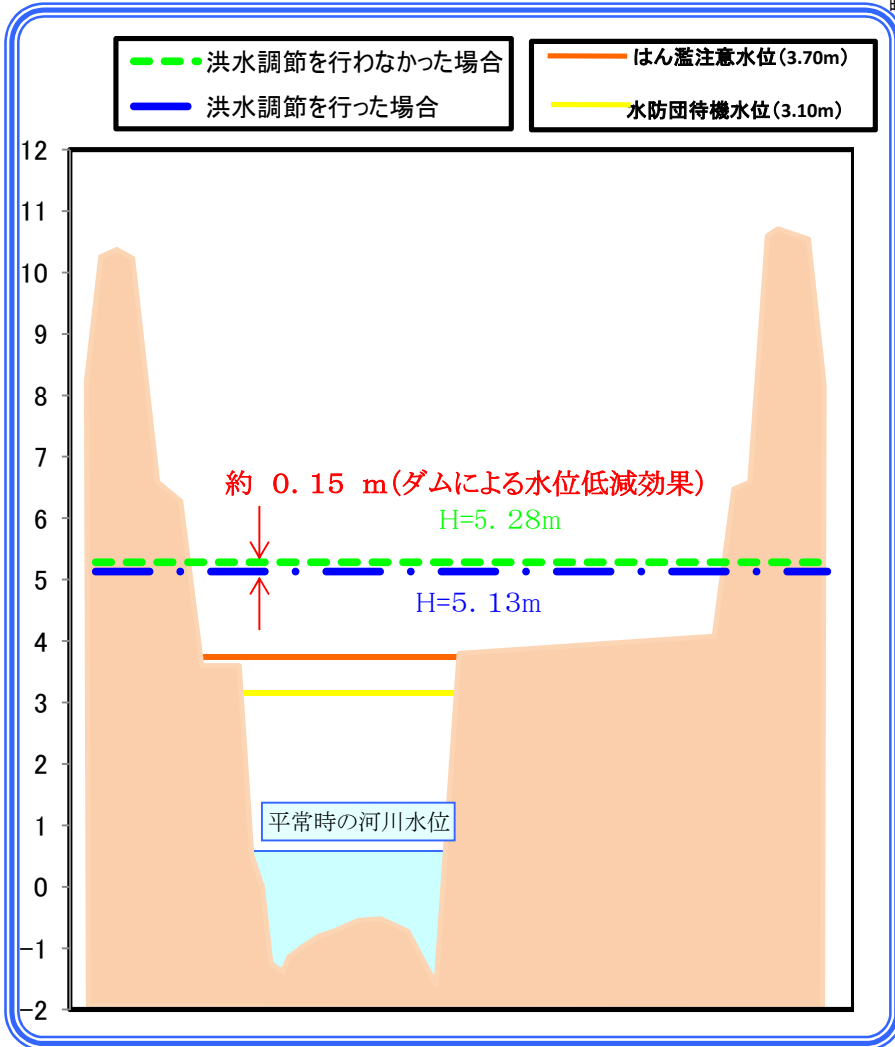


【洪水調節実績図(速報値)】



平成 29年 9月 17日 の台風第18号による 芹川ダム防災操作の効果について

【 大分市大字奥田 明礮橋地点の河川水位比較 】



(ダム無し水位はおおよその推定です。)

ダムによって 15 cm の水位低下

